



女性の活躍応援

自主宣言

北の輝く女性応援会議

北海道では、地域や職場、家庭など様々な場面で、すべての女性が多様な選択のもとに、生き生きと活躍し、個性や能力が十分に発揮される社会をめざしています。

「北の輝く女性応援会議」（事務局 北海道）では、オール北海道で女性の活躍に向けた取組を進める気運を醸成するため、広く「自主宣言」を募集しています。

それぞれの立場で、女性の活躍支援の取組を内外に宣言し、全道各地に応援の輪を広げていきましょう。

応募の方法

■宣言の対象者

道内に事業所がある企業、事業者、団体、グループ、道内自治体など

■宣言の内容・方法

別紙「女性の活躍応援自主宣言」の用紙に、「組織のトップからのメッセージ」や「今後の取組内容」など、宣言内容を記載し、ファックス、メールまたは郵送で事務局（裏面参照）にお送りください。

■宣言団体には

- ・北海道のホームページに宣言団体と内容を掲載します。
- ・宣言団体等の情報を、道立施設や道内大学の就職窓口などに配布します。
- ・道等が実施する女性の活躍支援に関するセミナー、講演会などの情報を提供します。
- ・国や道の女性の活躍に向けた支援制度の紹介など個別相談に応じます。

【自主宣言の例】

- *〇〇年までに、男女共同参画〇〇町計画を策定します。
- *〇〇町防災会議の女性委員の割合を〇%にします。
- *〇年以内に、女性管理職を〇名（〇%）にします。
- *〇〇町内会は、地域みんなで子育てを支援する〇〇に取り組みます。
- *我が〇〇グループは、活動への女性の参画を推進し、層の活性化を図ります。
- *社内会議の中に女性社員を参加させ意見を反映させます。
- *〇〇年から、今まで女性が配属されなかった部署やポストに女性を配属します。
- *〇〇年までに、子供が生まれた社員は、男女を問わず、育児短時間勤務制度が取得できる環境を整備します。
- *男女を問わず、社員がイキイキと働く、ワークライフバランスの充実した企業を目指します。
- *子供の行事や地域の活動に社員を積極的に参加させます。
- *定時に帰る社員には、「帰るバッジ」をつけて仕事をさせ、帰りやすい雰囲気を作ります。
- *〇〇年までに、男性の育児休業取得率〇%を目指します。

女性の元気応援メッセージ

本道においては、長く厳しい歴史の中で、男女がともに手を携えて広大な大地を切り拓き、豊かな自然の恵みを受けながら生活を営み、北国の風土を生かした個性ある文化、暮らしを脈々と育んできました。

しかし今、全国を上回る速さで少子化、高齢化が進み、人口減少の問題や地域における経済、活力の低下など、将来に向けた懸念が拡大しています。

この直面する難問を解決し、本道の独自性や優位性を最大限に活かし、将来にわたって持続的に発展していくためには、家庭や地域、職場など社会のあらゆる分野で重要な役割を担っている女性の活躍や、その活躍を支援する環境づくりが求められています。

この豊かなふるさと北海道を次の世代の子どもたちに確実に引き継いでいくため、すべての女性が、仕事や結婚、育児などのライフステージにおいて多様な選択の下に、各々の希望に応じて個性と能力を十分に発揮できる社会、男女が共に住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会を実現しましょう。

私たちは、活力に満ちた北海道の未来づくりに向け、幅広い分野の連携・協働により、女性の活躍を全力で応援します。

平成27年 2月10日

北の輝く女性応援会議

北の輝く
女性応援
会議の印

北海道経済連合会 会長	大内 全
北海道商工会議所連合会 会頭	高向 巖
北海道商工会連合会 会長	荒尾 孝司
北海道農業協同組合中央会 会長	飛田 稔章
北海道漁業協同組合連合会 代表理事 会長	川崎 好一
北海道森林組合連合会 代表理事 会長	村上 守義
日本労働組合総連合会北海道連合会 会長	工藤 和男
北海道女性団体連絡協議会 会長	中田 和子
北海道立女性プラザ 館長	笹谷 春美
NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ 代表理事	岡田 光子
株式会社 ワイズスタッフ 代表取締役	田澤 由利
太田明子ビジネス工房 代表 (EZONA代表)	太田 明子
株式会社 北洋銀行 代表取締役頭取	石井 純二
株式会社 北海道銀行 代表取締役頭取	堰 八 義博
一般社団法人 北海道信用金庫協会 会長	杉山 信治
厚生労働省北海道労働局 局長	羽毛田 守人
経済産業省北海道経済産業局 局長	秋庭 英人
北海道市長会 会長	田岡 克介
北海道町村会 会長	寺島 光一郎
北海道知事	高橋 はるみ



女性の活躍応援自主宣言

年 月 日

会社又は団体、自治体等名
 代表者氏名 _____

私たちは、「女性の元気応援メッセージ」の趣旨を踏まえ、
 女性の活躍促進に向けて取り組んでまいります。

女性の活躍促進に向けた組織トップからのメッセージや今後の取組内容など、それぞれの企業・団体の
 実情に応じてご自由にご記載下さい。

- ※ 上記の内容は、ホームページなどで公表します。
- ※ 厚生労働省の「女性の活躍推進宣言コーナー」(<http://www.positiveaction.jp/declaration/>) において宣言している内容と同一の場合は、以下の□にチェックしていただければ、上記枠内の記載は不要です。その場合は「女性の活躍推進宣言コーナー」での宣言内容が公表されます。
 厚生労働省の「女性の活躍推進宣言コーナー」に宣言している。
- ※ 自社のホームページ上で女性の活躍促進に関する宣言をしている場合は、URLをご記入いただきますと、リンクさせることもできます（詳しくはお問い合わせ願います。）。

連絡先	所在地	〒 _____		
	担当者氏名	_____	所属部署・役職名	_____
	電話番号	() _____	FAX	() _____
	Eメール	_____		

※事務局から情報提供等を行う際の送信先をご記入ください。

※ご記載いただく企業情報及び個人情報につきましては、本事業に係る事務処理以外には使用いたしません。

《送付先・お問い合わせ先》北海道 環境生活部 くらし安全局道民生活課女性支援室 活躍推進グループ
 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 電話 (011) 206-6954
 FAX (011) 232-4820 Eメール kansei.dousei4@pref.hokkaido.lg.jp

厚生労働省の「女性の活躍推進宣言コーナー」について

厚生労働省では、経営トップによる自社の女性の活躍推進についての宣言を募集し公表するなど、企業の「ポジティブ・アクション」の取組を応援しています。
 詳しくは、(<http://www.positiveaction.jp/declaration/>) をご覧ください。